

2024年4月吉日  
環境発がん研究センター

## PFAS 血液検査 受託開始のお知らせ

## [ はじめに ]

全国各地で、有機フッ素化合物（以下PFAS）による汚染が明らかになり、頻繁に報道されています。

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所は、研究所内の「環境発がん研究センター（センター長：京都保健会・京都大学名誉教授 小泉昭夫）」において、PFAS血液検査の受託を、4月30日より開始いたしますのでお知らせいたします。液体クロマトグラフィータンデム質量分析装置（LC-MS/MS法）を用いて、米国基準法に基づき米国で測定が推奨されているPFOS、PFOAを含む7種のPFAS血中濃度を、登録衛生検査所にて本邦で初めて受託します。

## [ 環境発がん研究センターの概要 ]

「国民の生活と健康に影響する要素に刮目し、生活向上と医療向上のため技術者の育成及び母子保健衛生に関する事業を実施し、国民の生活、健康及び福祉並びに医学の向上に寄与すること」（定款）を目的とし、2010年「環境発がん研究センター」を設立いたしました。

過去には、東京土建組合・東京土建国保組合の建設労働者を対象にして、中皮腫マーカー・メソテリン検査（N-ERC/Mesotheline）を約18万人（重複あり）に実施し、アスベストが原因とされる中皮腫の早期発見に向けて、研究型検診として取り組み社会貢献して参りました。

PFAS測定をするにあたり、この分野の第一人者である小泉昭夫先生にセンター長に就任していただき、PFAS汚染が明らかになった地域などを中心に、健康被害調査のためにPFAS血液検査に取り組みます。

## [ 最後に ]

この度のPFAS汚染は、健康を左右する Social Determinant of Health (SDH「健康の社会的決定要因」)の一つです。いのちと健康を最優先し、安心して生活できる社会の実現に向け、汚染の実態を明らかにし、住民の健康不安をサポートする運動の一環として、貢献していく所存です。

問い合わせ先：病体生理研究所環境発がん研究センター  
担当 PFAS 分析事務局

住所：東京都板橋区大谷口上町 26-2  
電話：03-3956-4101（代表）